

あかしん

クロスメディアを総合力でプロデュースする
PTC GROUP
半田中央印刷株式会社
 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
 TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
 http://www.handa-cp.co.jp

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

元氣のでてくる“ことばたち”

239

村上信夫



撮影・作田祥一

「歴史的小説は、歴史上の人物を讀者が抱いているイメージから引きずり下ろすところがある。宮沢賢治も、世間一般でいわれる聖人君子のように描いていない。」

人物が動き出す。父権が強い明治時代に、父親が息子に付きつきりて看病する。あれは史実なので、このエピソードを知ったとき、息子に甘い父親像が見えてきた。現代小説の父親として書いたら反感を買うかもしれないが、歴史小説としてならスツと心に落ちる。

「歴史的な資料は集められるだけ集めますが、書かれない情報の方が多いいのでそれらを削っていく作業になりますね。『銀河鉄道の父』は、宮沢賢治の生涯を父親の政次郎の視点から描いた作品ですが、賢治の文学に関するところは全部捨てました。」

最高傑作は次回作

作家 門井慶喜さん

「最高傑作はつねに次回作！進化し続ける作家でありたい」

こんなことが言えるなんて格好いい。しかも大きな声で大見得を切るような言い方でなく、静かな口調で淡々とさりげなく。

『銀河鉄道の父』で第一五八回直木三十五賞を受賞した作家の門井慶喜さんだ。

1971年、群馬県の生まれだが、京都の大学に通った縁もあり、門井さんは、いま大阪に住んでいる。近畿には、古代から現代まで、歴史がすべて揃っているからだ。

古代都市・奈良、中世都市・京都、近世都市・大阪、近代都市・神戸。歴史小説家にとってこんな好都合なところはない。

登場人物が動き出す

かねてから門井作品の大ファンだったボクは、これまで読んだ作品はすべて一気読みだった。最初にそのことを伝えると、門井さんははにかんだ表情でこう話した。

「読者の方からも一気読みしたいといっていたことが多く、作家として本望と思う半面、ちよつと信じられない気もするんです。僕自身は一気に書いたわけではない、一年以上かけて、レンガを少しずつ削っていくように書いたもの

「歴史小説を書くときは、歴史上の人物にインタビューしながら書いているようなものでも僕が調べ過ぎてしまうと、『じゃあ俺はしゃべらなくてもいいよな』みたいで、相手が口を閉ざしてしまう。知り過ぎてしまうとうまく書けなくなり、書き出しも重くなってしまいます。」

最初から知識を出し過ぎず、人物が動いてくれるとスムーズにいくそうだ。

例えば『銀河鉄道の父』の政次郎だったら、冒頭の賢治を看病する場面を考えたら動き出した。その生涯で一つ強いエピソードを見つけたとき、

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』（毎週日曜10:00～）、月刊『清流』連載対談～ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』（近代文藝社）『ラジオが好き!』（海竜社）など。趣味、将棋（二段）。
http://murakaminobuo.com



俳画/イネ・セイミ

門井さんの小説は、歴史上の人物を讀者が抱いているイメージから引きずり下ろすところがある。宮沢賢治も、世間一般でいわれる聖人君子のように描いていない。」

「僕は資料を読んで得たものを素直に書けば、オリジナルになるという根拠のない自信があるんです。」

「ゆけ、おりよう」でも、坂本龍馬の妻、おりようの一般的なイメージを崩して、いい意味で読者を裏切った。

「おりようさんはつねに三歩下がって、龍馬の帰りをいつまでも待っているというイメージが強いと思いますが、酒が強くきつぷがよくて口がうまい。最初から偶像を破壊してやろうと思って書く」と歴史小説に説得力はなくなりつつも、いろいろな資料を読んだ結果、ああいうおりようさん像が出てきたんです。

針小棒大という聞きかたが悪いかもしれないが、自分で見つけた小さな宝を大きくしていくのが醍醐味なのだろう。

「僕には『棒大針小』の楽しみもありまして、歴史書で大きく取り上げられているものが、僕の小説では小さく扱われていることがあります。例えば龍馬がからんでいたとされる薩長同盟の話も、おりようにしてみたら、龍馬が薩長の藩士たちと酒を飲んできただけで、だから針小になるんですよ。」

最新作『新選組の料理人』では、土方歳三は剣が強くなかったという話も書いている。剣が強かったという記述がどこにもないんです。僕も剣が強いと思込んでいたんですが、土方が剣を始めたのは十八歳頃。そういえば池田屋事件のときもいかなかったし、ほかの浪士をつかまえ

インディアン フルート教室 開講いたします

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンフリューターを演奏してみませんか？

講師 イネ・セイミ
 (日本インディアンフルートサークル協会ディレクター) ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。1レッスン30分4,000円 会場：半田市潮干町

申込みお問い合わせ 0569-89-7127 ine.seimi.jp@gmail.com

俳画教室開講中

常滑屋

とき 俳画教室月二回 午後一時三十分～三時三十分

会費 一回 一、二五〇円(三ヶ月分前納制)

問合せ ☎〇五六九(三五)〇四七〇

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

好評発売中

人は、ことばで磨かれる

次回は、明治初期の日本人初の建築家、辰野吾吾の一代記か、「地下鉄の父」と呼ばれる早川徳次ら地下鉄銀座線を開通させた人々の話になるという。

毎回、進化と深化を続ける門井さんがどんな姿を見せてくれるのか、次もその次も：楽しみでならない。

に行くことも少なかったなと気づきました。彼は剣の強さより、内部統制の能力や政治力でのし上がってきたような人物だったんじゃないかという結論が自然に出てきました。」

小説というものは、技術によって書いていく。技術には二つの要素があって、一つは伝達可能、もう一つは蓄積可能な技術だ。誰かに伝えることができ、その反応から学ぶことで、今日よりは明日、明日よりあさってと永遠に成長していくものだ、門井さんは考えている。

一方的に発信するだけでは成長がなくて、読者の反応によって進化していく。読者からの反応がないと、技術が成熟したと思えない。フィードバックがあつて、初めて客観的にわかる。

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職

—自分ドラマつくろう— (89) 岡田 清治

姪の就職2

「これから先、あまり有望な産業が期待できない。ただ再生医療など医学やがんの治療薬の分野では有望かもしれないね」

「少子化が続き日本経済全体としては明るくなることは期待できないですね」

「まあ、そうですが、これから先何が起るかわかりませんよ。自然災害も頻発していますから、あまり心配してもキリがありません」

「私たちの時代はいいとしましても、子どもや孫の時代はどうなるか心配ですね」

「それはそうですが、歴史は苦難の道を繰り返しながら進歩してきました。これから先もそういうことではないでしょうか。いつの時代も楽なことではないのであって、どこで納得するか、妥協するか、我慢するしかないのだと思います」

「百年後に人口が半減、高齢者が大半の世の中、想像するだけでも恐ろしいですね」

「ただ人口は江戸時代と同じですから、工夫次第ではいい時代になるかもしれませんよ」

「私は今が大きな時代の節目だと思っています。その渦中にいますと、なかなか今の時代が見えないのですが、明らかに大きな変化の予兆を感じます」

「確かに時代の変化は一気に起こらないと見えませんが、戦争とか地震など一挙に変化を起こす外部からの力が働かないと、人々は変化に対応する術がわからないのです」

「そうですね。少子高齢化社会も五十年ほど前から指摘されてきました。我々は頭で理解できても実感がないので、どうすることもできません。政府でもその時になって年金、医療、介護などの制度、さらに財政の悪化も問題先送りでしょうよもない」

「政治家はわかっているにも選挙に勝つためには選挙民の嫌がることを先送りしますから、結局は行き詰るまで手をつけません」

「これは日本に限りませんが、大変革が起こるときは極右勢力や左派政党が台頭して下手すると崩壊してしまいます」

「いやですね」

「日本の景気はどうですか」

「先日、ワシントンDCに暮らす友人とSkypeで話しました。日本ではガソリン価格が上がっています、アメリカでは下がっているのです」

「シェールオイルの影響ですか」

「友人が言うには、どうも違うらしいのです。アメリカ軍はイラクから撤退すると言いましたが、なぜアメリカはいまだに引き上げないのかというのです。イラクのガソリンは何処へ行ったのかということ。日本ではガソリン価格が上がっているのに、アメリカでは日本の半値のうえ下がっている？なぜか。識者も答えられないが不思議です」

「最近のアメリカはトランプが登場してからわからなくなりましね」

真三は三人で話をしながらも焼酎のグラスに手を伸ばし、先の話の続きを再び始めた。
「真三が思った通り「頭金20%で残りはボーナスで支払ってください」と、各機種の上にピンクの蛍光塗料で書いた値札で買い気をそそっている。NECのPC-88001の価格は16万8,000円である。
「もう一つランク上の機種はどれですか」



【写真】景色も飽きないのが一番(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971
メール: takamisusu@akai-shinbun.net



プロフィール

著者：岡田清治おかせいじ
一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集者)ロクダクシオンNEETIO8代表
著書に『高野山開創二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』などは社員の全能を引き出せますか！『リヨンで見た虹』など多数

「PC8801です」

「どう違うのですか」

「機能が違います。やはり高いだけにいろいろな機能がついています」

「要するにPC8801で出来ることをPC88001ではできないことがあるのですね。例えばどのようなことですか」

「詳しいことはマニュアルを見ないとわかりませんが……」

「ということは、大きな違いがないということなんですよ。かなり専門的な面で差が出てくると考えたらいのでしょね」

「まあ、そうですね」

真三はPCは高価なモノだけにいくつも買ったり買い替えたりできないので、無理しても上級クラスを買うことに決めていた。というのは、ステレオを購入した時がそうであったが、一番安いコンパクト・タイプを買った。何回も聞いていたうちに、もう一つ上のクラスの機種がほしくなった。耐久消費財を購入するとき、いつも手持ちの資金と相談しながら、より安いモノを選んではしまいが、冷蔵庫のような電化製品と違ってオーディオのような嗜好品の要素の強い商品は、可能な限り上のクラスを選んでおく、あきがこない、真三は思っている。だからマイコンについても無理しても上級機種を選ぶことにしたのだ。

「よう考えてから買いなさいや」と言われているので、とにかく一呼吸おいてから買うことにした。

「るりのやり方に驚くことがある。百貨店で気に入って買っても、自宅に持ち帰って鏡の前で着てみて気に入らないと、翌日返しに行くのである。安物のプラウスカーディガンでもそうする。このようなことは真三にはできない。だいたい時間の使い方がもったいないと思つた。女の買い物と男の酒は同じようなもので無駄が多いということのようだ。

「買い物でも一つ驚くことは、手元におカネがなくなると気がついた衣服があれば、百貨店に預かってもらおうよなことをすることだ。自分の気に入ったものが翌日、売り場に行くとき売れてなくなってしまうと悔しくなるので、予約買入るのである。別にそれを買わないでも、気に入る衣服がいくつもあるはずだから、おカネを持っていく時に買つたらいいと真三は思う。だいたいのり子の買い物は無目的なところがあるから、そのようなことをするのだらう。

「マイコンの店では黙って見ている。真三はできることなら周辺機器やソフトウェアも一度に揃えようと考えている。

真三はしばらく思案した。というのは、VTRを買ったとき、できるだけシンプルなものがいいだろうと考へ、リモコンやリサーチ(検索)、一時停止、スローモーションなどの機能のない機種を選んだ。理由の一つには多機能なら故障率も高いたらうと考へてからである。それに価格的にも相当、割高であった。使ってみてわかったことは、多くの機能をもっていることは、それだけ便利だということだ。リモコンも買

つていなかったもので、リサーチするときはいちいちテレビの下に置いてあるVTRのスイッチを停止、再生を繰り返して見つけなければならぬ。これが大変、面倒である。この時もちよつと安く買うためにシンプルなものを選んでことを悔やんだ。だからマイコン用のテーブルコーダーも専用機を買うことにしたのである。
「マイコンでワープロもできるのですか」

真三は店員に聞く。
「NECから簡易日本語ワードプロセッサというフロロピイデスクのソフトウェアがあります」

フロロピイデスクについては、マイコンを知らない人には聞き慣れないものである。真三もその頃、知らなかった。これはテーブルコーダーと同様、記録、再生の機能をもつが、スピードが速く及び蓄える情報量が多いのが特徴である。速いスピードが必要かというところ、例えばゲームのソフトウェアをマイコンに覚えさせ稼働するまでの時間はテーブルコーダーなら5分ほどかかるが、フロロピイデスクのソフトウェアなら種類にもよるが、まず1分以内で可能である。わずかな時間の差のように思えるが、実際に使いたすとその差は大変、大きいことがわかる。テレビで広告の時間帯が短くなるのと似ている。フロロピイデスクのソフトウェアを使うと、テーブルコーダーの使用が嫌になるのは事実である。

フロロピイデスクはレコードのシングル版のように円盤状にした柔らかい磁気盤を窓のある四角な薄いボール紙のケースで包み直接、磁気盤に手を触れないようにしてある。これをディスクと呼び、装置をフロロピイデスクという。真三はこれまでフロロピイデスクなど一度も操作したことがなかったが、テーブルコーダーと同じように装置にディスクセットを挿入してボタンを押せばいいのだらうと考へていた。実はこれがとんだ誤りで、フロロピイデスクを扱いはれるまで大変、難しく悪戦苦闘することになった。

ところで真三はマイコンでワープロができなければたぶん、購入する気になつていなかった。実際に使ってみても、ワープロとして使うことが圧倒的に多い。やがて初めからワープロ機能のついたマイコンも登場してきてた。

「そうすると、フロロピイデスクと簡易日本語ワードプロセッサのソフトを買えば、マイコンでワープロができるのですね」

「そうですね。漢字ROMボードが本体には付いていませんので、ROMは買ってもらうなければなりません。値段ですが、38,000円です」

「要するにそのROMがないと、いくらソフトを持っていても使えないわけですね」

漢字ROMボードとなると、真三はまるでわからない。用語辞典には「ICメモリーの種類読み出し専用メモリー」とある。PC8801には漢字を処理する頭脳がないので漢字ROMを追加装着してやらなければならない。この高価な頭脳は本体のフタをはずして自分で取り付けなければならない。図面通りやれば、そう難しいことではない。

絵手紙 第二集



絵文 椋山善久

返文 小林玲子

椋山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。丸栄陶業株式会社代表取締役。碧南商工会議所会頭。愛知県陶器瓦工業組合理事長。全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。平成十三年藍綬褒章受賞。平成二十二年旭日小授章受賞。丸栄陶業株式会社取締役会長を経て相談役に。京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・洋画コース大学院修士課程修了。平成二十九年六月碧南市藤井達吉現代美術館にて初の作品展開催。社名を栄四郎瓦株式会社に変更。独立美術展 入選。

小林玲子

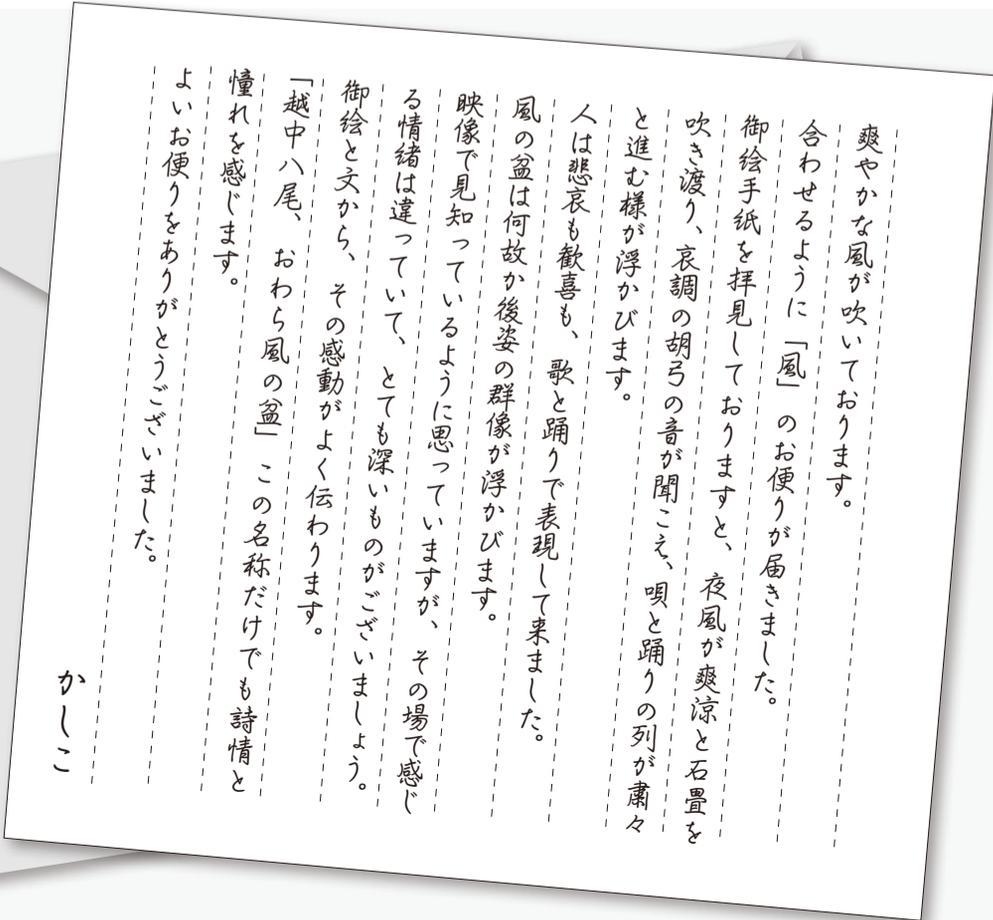
碧南市に育つ。西尾市在住。共著「西尾の民話」童話「サケの子ピッチ」随筆「海辺のそよ風」(中経コラム「閑人帳」より)ミュージカル脚本「みぐりちゃんのおうち」童話集「タアタとバアバのたんけんたい」



越中八尾 おわら風の盆を見学

おの音色
熱く膨れる
風の盆

友人に誘われ九月二三日と越中八尾おわら風の盆を見学に出かけました。三味線・太鼓に胡弓を奏で、粋な笠を被り、叙情豊かた気品のある優雅で詩的な唄と踊りを堪能しました。八尾は江戸中期から養蚕や配器・染めの袋甲紙の仲間で栄之。豊かな文化の土壌を育んだ人々が、中央の文化人と交流する中で、おわら節を洗練させてきました。日本の道る選にも選ばれた石畳が続く坂道のあちこちには歌碑があり、仕舞屋風の家が軒を連ねる街並にも魅了されました。



爽やかな風が吹いております。合わせるように「風」のお便りが届きました。御絵手紙を拝見しておりますと、夜風が爽涼と石畳を吹き渡り、哀調の胡弓の音が聞こえ、唄と踊りの列が肅々と進む様が浮かびます。人は悲哀も歓喜も、歌と踊りで表現して来ました。風の盆は何故か後姿の群像が浮かびます。映像で見知っているように思っていますが、その場で感じる情緒は違っていて、とても深いものがございました。御絵と文から、その感動がよく伝わります。「越中八尾、おわら風の盆」この名称だけでも詩情と憧れを感じます。よいお便りをありがとうございました。

かしこ

知多の動植物雑記(三六〇)

原 穰

日頃訪れている某喫茶店... 花が変わるの? 「まさか、緑台にある畑から取って...」



「うらやましいな。うちの庭なんか、雑草だらけで...」

「やらやましいな。うちの庭なんか、雑草だらけで...」

反対側の畑地に、きれいな花が咲き誇っており、その畑地で作業中のオバチャンに、「こんなにちは、庭の花を撮らせて下さい」と言え...

発表会 (Publication Event) section with a photo of a child and text about a children's festival.

美の回廊 Vol.34

水野 伊津子 「コルシカ島スケッチ旅行」

ナポレオンが生まれた島らしい知識がなかった私ですが、こんな風にご縁ができてコルシカについていることがわかってきました。

招待されたコンサートの曲はイタリア語でもなくフランス語でもなくコルシカ語で歌い継がれていましたし、最後の曲は決まってコルシカの島歌(国歌)を起立して聞いていました。

歴史をひも解くと中世、長くジェノヴァ(イタリア)の支配が続いていたため南部の街はイタリアのトスカナあたりの村と雰囲気似ています。

またコルシカ島にはいたるところに砦や物見台がありました。かつては海岸線に5kmごとに置かれていたそうです。

1700年代になるとパスカール・パオリ率いる独立運動が各地で勃発します。これを40年戦争といいます。



ナポレオン

実はこの人はナポレオンの父親です。ナポレオンはこの3か月後にコルシカアジャクシオで生まれることになるのです。

1789年フランス革命が起き、初期の指導者の1人であったミラボーという人物は「自由のために戦ったコルシカ人は法律上なんの罪もおかしていない」と主張してパオリたちコルシカ人亡命者に対する恩赦を主張。

その後コルシカは1796年將軍として出世したナポレオンによって解放され、フランス領自治を与えられ現在に至ります。

歴史に翻弄され、利用され、複数の国の支配を受け続けたコルシカ。完全支配とか植民地とかひどいことにならなかったのは過酷な自然が邪魔をして攻め入れなかった結果、民族も伝統も細々と生き残ったこれのせいだと思います。

もしコルシカが資源豊かで平坦で交通網が整っていたら全く別の結果が待っていたでしょう。

人間便利になりすぎると、あらゆるもののスピードが速くなり、失うものも大きいような気がします。

もともとのおんびり自給自足のおおらかな島民気質は生きていけるような気がしました。

私がアクシデントが起きて焦っていると、一人の女性が「ピアノピアノ」と声をかけてきました。

彼女は「日本人はきちんとしすぎるわ。予定は狂うものだしアクシデントは起きるものよ」と。落ち着きなさいとかいう言い方ではなく「ピアノピアノ」の言葉の響きに救われた旅でした。



パスカール・パオリ



コルシカ旗



pino1

若竹俳壇

金魚鉢眺めておいて客となる折鶴へ息を吹き込む敗戦...

雪溪の北アルプスで涼一日夏草や数多の石仏見え隠れ...

子に無理大人好みの心太りびきって大きな猫や夏座敷...

愛犬も暑さ凌ぎに右往左用猫ニヤンも一人前だよ土用の丑...

- 武豊町を一緒に盛り上げよう講座... 情報スタッフ養成編... 遊学講座... 武豊町立図書館... 武豊町立図書館... 武豊町立図書館...

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに葉書で 発行所へ

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに葉書で 発行所へ

